

NPO 環パちば パートナーズミーティング

SDGs 達成のための ESD 担い手育成事業スタートとして、『NPO 環パちば パートナーズミーティング』を開催しました。

- 日時:平成 30 年 6 月 25 日(月) 14:00~16:00
- 会場:きぼーる ビジネス支援センター15 階多目的室 (千葉市)
- 開催の趣旨

事業の背景に、環境保全活動の担い手不足があること、2030 年までに SDGs 達成のため課題解決に向けて、持続可能で多様な視点を取り入れた ESD (Education for Sustainable Development) のプログラムも必要であることから、当会で 3 年間の事業として組みました。このミーティングは、スタートにあたり SDGs と ESD について認識・情報を共有するために開催しました。

■ 内容

【第 1 部】

- ・講演「SDGs と ESD をよく理解するために」

講師 島田 幸子氏 (関東地方 ESD 活動支援センター、
関東地方環境パートナーシップオフィス(関東 EPO))

「SDGs」と「教育」について、教育は SDGs の目標 4 に位置付けられ、ESD は目標 4 の中のターゲット 4.7 に記載されている。教育が全ての SDGs の基礎であり、ESD をより一層推進することが SDGs の達成に直接、間接につながっている。

- ・「SDGs 達成のための ESD 担い手育成事業」を展開するための意見交換

ファシリテーター 石井 雅章氏 (神田外語大学)

「ワクワクする」「モヤモヤする」のテーマでグループごとに話し合い、全体で共有しました。

「ワクワクする」では、方向性が見つかるかも。新しいつながりができる。「モヤモヤする」では、今までと何が違う。マジックワードに振り回される、等がありました。

【第二部】 地域版 ESD モデルプログラムづくり

- ・講演「ESD プログラムのつくり方」

講師 大塚 明氏(持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J)理事)

学校や地域での ESD の授業に取り組むために、ESD プログラム作りのポイントについて話されました。

ポイントは、各教科・道徳・特別活動との横断的なつながりの見直し、カリキュラムとして ESD カレンダーを作成し実施すること。目標は「21 世紀を『生きる力』を身につける」。また、ESD の要素と ESD で重視する能力、態度についても話されました。

- ・分野ごとの自己紹介及び今後のプログラム作り

講演を受けて、参加者がエネルギー、生物多様性、資源循環、水環境の 4 分野に分かれ、環境省が全国で展開した ESD プログラムを見本に、ESD の視点を学ぶためのプログラムを探しました。

今後、ESD 担い手育成事業、SDGsを進めるプラットフォームづくりを展開します。

この事業の 1 年目は、地球環境基金の助成を受けました。

島田氏講演

